

[コース ID : 44] 線形代数 I

44.5 平面ベクトル (直線のベクトル)

44.5.1 平面ベクトル (直線のベクトル)

問題 001 (バリエーション No.1)

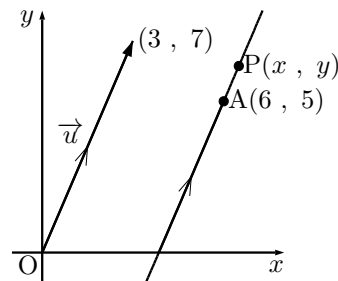
点 $A(6, 5)$ を通り、 $\vec{u} = (3, 7)$ に平行な直線の方程式を、媒介変数 t を用いて表すと、

$$\begin{cases} x = 6 + \boxed{\text{ア}} t \\ y = \boxed{\text{イ}} + \boxed{\text{ウ}} t \end{cases}$$

となる。

直線上の点を $P(x, y)$ とすると媒介変数 t を用いて、

$$\begin{aligned} \vec{OP} &= \vec{OA} + t\vec{u} \\ (x, y) &= (6, 5) + t(3, 7) \\ &= (6 + 3t, 5 + 7t) \end{aligned}$$



よって

$$\begin{cases} x = 6 + 3t \\ y = 5 + 7t \end{cases}$$

問題 002 (バリエーション No.1)

2 点 $A(-4, -10)$, $B(-1, 7)$ を通る直線の方程式を、媒介変数 t を用いて表すと

$$\begin{cases} x = -4 + \boxed{\text{ア}} t \\ y = \boxed{\text{イウエ}} + \boxed{\text{オカ}} t \end{cases}$$

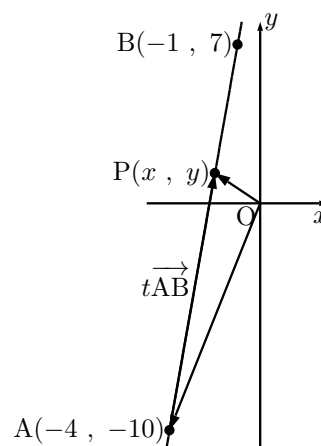
となる。

\vec{AB} を成分表示すると

$$\begin{aligned} \vec{AB} &= (-1, 7) - (-4, -10) \\ &= (-1 - (-4), 7 - (-10)) \\ &= (3, 17) \end{aligned}$$

なので、

直線上の点を $P(x, y)$ とし、媒介変数 t を用いて \vec{OP} を表すと、



$$\overrightarrow{OP} = \overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{AB}$$

$$\begin{aligned}(x, y) &= (-4, -10) + t(3, 17) \\ &= (-4 + 3t, -10 + 17t)\end{aligned}$$

よって

$$\begin{cases} x = -4 + 3t \\ y = -10 + 17t \end{cases}$$

問題 003 (バリエーション No.1)

点 $A(-6, 3)$ を通り、 $\vec{n} = (3, 5)$ に垂直な直線の方程式は

$$\boxed{\text{ア}} x + \boxed{\text{イ}} y + 3 = 0$$

である。

$\vec{n} = (3, 5)$ に垂直なベクトルは、 \vec{n} との内積が 0 になる。

このため、 \vec{n} の x 成分と y 成分を入れ替えて、どちらかにマイナスを付ければ、 n ベクトルとの内積が 0 になるベクトル、例えば、 $\vec{u} = (-5, 3)$ が得られる。

\vec{u} を用いて、直線上の点 $P(x, y)$ を媒介変数で表すと、

$$\begin{aligned}\overrightarrow{OP} &= \overrightarrow{OA} + t\vec{u} \\ (x, y) &= (-6, 3) + t(-5, 3) \\ &= (-6 - 5t, 3 + 3t)\end{aligned}$$

これより、

$$\begin{cases} x = -6 - 5t & \cdots \text{①} \\ y = 3 + 3t & \cdots \text{②} \end{cases}$$

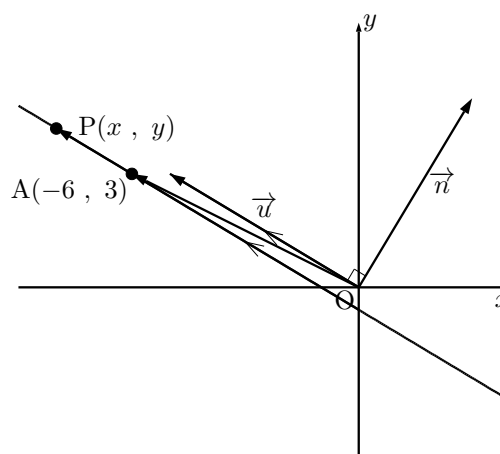
① $\times 3$ 及び ② $\times 5$ をして、各々加えると

$$3x + 5y = 3 \times (-6 - 5t) + 5 \times (3 + 3t)$$

$$3x + 5y = -18 - 15t + 15 + 15t$$

$$3x + 5y = -3$$

$$3x + 5y + 3 = 0$$



問題 003 (バリエーション No.13)

2点 $A(-2, -3)$, $B(2, 4)$ を通る直線と直交し、 A を通る直線の方程式は

$$\boxed{\text{ア}} x + \boxed{\text{イ}} y + 29 = 0$$

である。

\vec{AB} は,

$$\begin{aligned}\vec{AB} &= (2, 4) - (-2, -3) \\ &= (2 - (-2), 4 - (-3)) \\ &= (4, 7)\end{aligned}$$

$\vec{AB} = (4, 7)$ に垂直なベクトルは、 \vec{AB} との内積が 0 になるので、 \vec{AB} の x 成分と y 成分を入れ替えて、どちらかにマイナスを付けて、例えば、 $(-7, 4)$ が得られる。

これを方向ベクトルとして、直線上の点 $P(x, y)$ を媒介変数 t で表すと、

$$\begin{aligned}\vec{OP} &= \vec{OA} + \vec{AP} \\ (x, y) &= (-2, -3) + t(-7, 4) \\ &= (-2 - 7t, -3 + 4t)\end{aligned}$$

これより、

$$\begin{cases} x = -2 - 7t & \cdots \text{①} \\ y = -3 + 4t & \cdots \text{②} \end{cases}$$

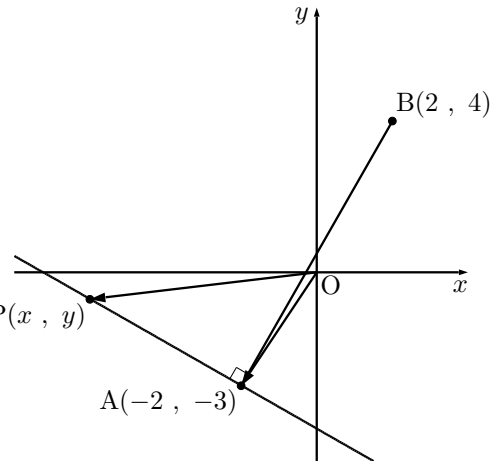
① $\times 4$ 及び ② $\times 7$ をして、各々加えると

$$4x + 7y = 4 \times (-2 - 7t) + 7 \times (-3 + 4t)$$

$$4x + 7y = -8 - 28t - 21 + 28t$$

$$4x + 7y = -29$$

$$4x + 7y + 29 = 0$$



問題 004 (バリエーション No.1)

2つの直線 $x - 3y + 2 = 0$, $2x - y - 3 = 0$ のなす角を θ ($0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$) とすると

$$\cos \theta = \frac{\sqrt{\frac{\text{ア}}{\text{イ}}}}{\quad} \text{である.}$$

二直線のなす角 θ を直接考えないで、各直線の法線ベクトルのなす角を考えれば良いので、

$x - 3y + 2 = 0$ の法線ベクトル $\vec{n_A}$ として、一般形の直線の方程式の x の係数が法線ベクトルの x 成分、 y の係数が法線ベクトルの y 成分なので

$$\vec{n_A} = (1, -3)$$

$2x - y - 3 = 0$ の法線ベクトル $\vec{n_B}$ として、

$$\vec{n_B} = (2, -1)$$

内積を 左辺は成分で、右辺は各法線ベクトルの大きさ・なす角から計算すると、

$$\vec{n_A} \cdot \vec{n_B} = |\vec{n_A}| |\vec{n_B}| \cos \theta$$

$$1 \times 2 + (-3) \times (-1) = \sqrt{1^2 + (-3)^2} \times \sqrt{2^2 + (-1)^2} \times \cos \theta$$

$$5 = \sqrt{10} \times \sqrt{5} \times \cos \theta$$

$$5 = 5\sqrt{2} \cos \theta$$

$$\cos \theta = \frac{1}{\sqrt{2}}$$

これより、

$$\cos \theta = \frac{\sqrt{2}}{2}$$

